

公益社団法人青少年健康センター 平成 27 年度事業報告

1. 法人の基本情報

(1) 法人の概要

① 法人の目的

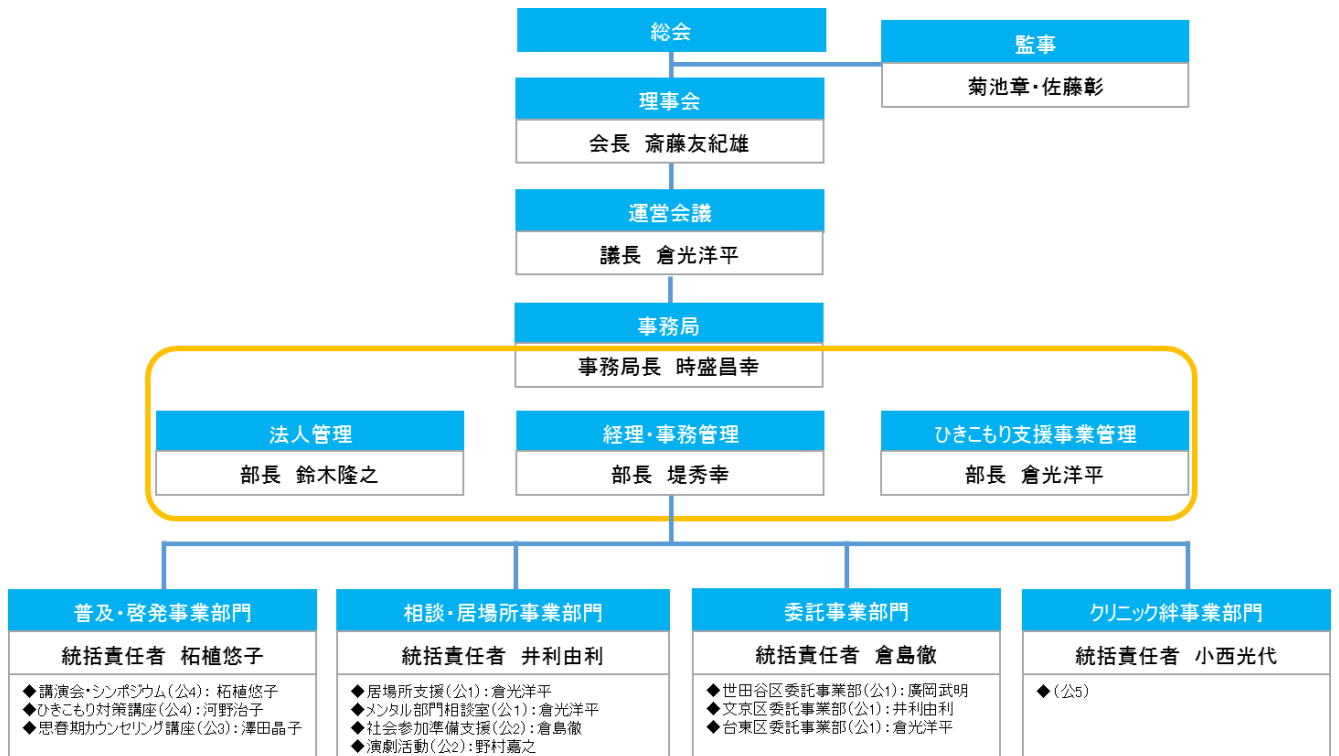
公益社団法人青少年健康センターは「青少年問題についての調査研究及び知識の普及啓発を行うとともに、精神的不適応等青少年の行動上の問題に対し適切な相談指導を実施し、もって青少年の健全育成と公共の福祉増進に寄与すること」を目的としております。(定款第 1 章 第 3 条)

② 業務内容

当法人は、定款第 1 章 第 3 条の目的を達成するために以下の業務を行います。

- i) ひきこもり等生きづらさを抱える若者への相談・居場所支援事業
- ii) ひきこもり等生きづらさを抱える若者に関する知識の普及啓発を目的とする事業
- iii) 若者の自殺予防を図る無料の電話相談「クリニック絆」事業

③ 組織図(2016/05/25)



(2) 役員の状況

公益社団法人 青少年健康センター

平成 28 年度 役員名簿

役職名	氏名	職業等	備考
理事	齋藤友紀雄	日本自殺予防学会理事長	非常勤(重任)
	関川俊男	関川情操教育研究所長	非常勤(重任)
	近藤 卓	山陽学園大学教授	非常勤(重任)
	藤堂宗継	医療法人社団雄心会山崎病院	非常勤(重任)
	倉本英彦	医療法人社団北の丸会理事長	非常勤(重任)
	岩佐壽夫	家庭ケースワーク研究所長	非常勤(重任)
	井利由利	公益社団法人青少年健康センター 茗荷谷クラブ・チーフスタッフ	非常勤(重任)
	時盛昌幸	公益社団法人青少年健康センター 事務局長	非常勤(新任)
監事	菊池 章	医療法人白翔会浦和神経サナトリウム院長	非常勤(重任)
	佐藤 彰	元千代田化工建設(株)	非常勤(新任)
参与	齋藤 環	筑波大学教授	非常勤(重任)
	中島聡美	福島県立医科大学 特命准教授	非常勤(重任)

2. 事業の説明

平成 27 年度(自平成 27 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日)の事業報告を下記の通りご報告いたします。

(1) 法人事業

① 平成 27 年度 入社式 開催

平成 27 年 4 月 2 日(木)シビックセンターにて、世田谷区委託事業に携わる常勤職員 5 名に対し、入社式を行いました。新入職員 5 名から入社に対する誓いの言葉が行われ、新入職員の決意・自覚を当法人会長・役員含め確認いたしました。

入社式後には、世田谷区メルクマールせたがや施設内にて新入社員職員研修を実施いたしました。

② 第1回 職員総会 開催

平成 27 年 4 月 26 日(日) ハイアットリージェンシー東京スカイルームにて、第 1 回職員総会が開催されました。来賓に福田貴代子様をお招きし、総勢 38 名の役員・職員の皆様にご参加いただきました。本会では平成 27 年度からは新たな事務局体制、事業部制が発表され、今後の事業方針・計画を職員一同で共有いたしました。

③ 30 周年式典 開催

平成 27 年 11 月 22 日(日) 学士会館にて「公益社団法人青少年健康センター30 周年式典」を開催いたしました。本式典では青少年健康センターの 30 年を振り返るとともに、今後の新たな事業展望について発表されました。当日の参加者総数は 111 名に上り、盛会に行われました。

(2) 公益事業

平成 27 年度の公益事業における全体の利用実績が 11,897 件(月平均 991.7 件)にのぼりました。各事業の詳細は以下に記載いたします。

① ひきこもり・不登校に対する自立支援

◎心理相談(茗荷谷クラブメンタル部門相談,※公 1 に該当)

総延相談件数 3,947 件(内:茗荷谷相談:991 件、せたがや:2,329 件、訪問相談:69 件、電話対応:558 件)となりました。

◎居場所事業(茗荷谷クラブ,※公 1 に該当)

茗荷谷クラブおよび世田谷事業における居場所運営においては、3,617 件(茗荷谷:2,090 件*、世田谷:1,527 件)となりました。26 年度実績は茗荷谷のみ実績で 1,877 件であり(世田谷は 2014 年 9 月から開室より、未集計)、茗荷谷だけでも 213 件(前年度比 111.3%)の増加という結果になりました。

*文京区委託事業も含む

◎社会参加支援事業(※公 2 に該当)

ボランティア体験、職場体験、ジョブトレーニング等の場を提供し、参加いただいたご利用者の総延数は 1,690 件のぼりました。また社会参加への準備を実施する「社会参加準備グループ」には延利用者数 120 件でした。クラブ以外の外部交流のきっかけを提供する「演劇活動」「サッカークラブ活動」には延 720 件でした。

② ひきこもり等生きづらさを抱える若者に関する知識の普及啓発を目的とする事業

◎思春期カウンセリング講座(※公3に該当)

講座名		講師名	実施回数
体験講座	基礎	藤堂宗継(山崎病院)	計15回
人のこころを理解するために パーソナリティを考える	理論	藤堂宗継(山崎病院)	計3回
ひきこもり家族のライフプラン3	理論	村井英一・畠中雅子 (ファイナンシャルプランナー)	計2回
発達障害が疑われる方の 社会適応を考える	理論	大島朗生(東京福祉大 講師)	計3回
日常生活に活かす心理学 ～誕生から死まで～	特別	近藤卓(山陽学園大 教授)	計3回
電話相談の効果を高める	特別	鉦鹿健吉(国立看護大 名誉教授)	計3回

昨年度で実施された思春期カウンセリング講座は計6講座(計35回)が開催され、延参加件数は239件となりました。26年度実績が207件(6講座、計33回)でありました。これを比較すると、27年度が1講座あたりの参加者は6.8名に対し、26年度は1講座あたり6.3名となり若干の微増という結果になりました。

◎実践的「ひきこもり対策」講座(※公4に該当)

講座名		会場	日付
AM	PM		
理論編	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	4月12日
家族会	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	5月24日
家族会	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	6月14日
理論編	家族会	シビックセンター(文京区STEP共催)	7月18日
夏期家族宿泊セミナー		リフレフォーラム	8月22,23日
家族会	—	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	10月17日
理論編	家族会	大原地域活動支援センター(文京区STEP共催)	11月21日
家族会	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	12月20日
家族会	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	1月24日
家族会	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	2月21日
理論編	家族会	筑波大学 東京キャンパス文京校舎	3月27日

当法人参与である精神科医斎藤環氏(筑波大学教授)を中心に原則月に一回行われ、昨年度は計11回(合宿を含む)開催し、385名の方のご利用がありました。26年度では10回開催、年間449名の参加でした。1回あたりの平均で比較すると、27年度が35.0名、26年度が44.9名の参加ということになり、1回あたり10名ほど参加者が少ないという結果になりました(26年度比77.9%)。

◎講演会・シンポジウム

講演会名	講師名	実施回数
オープンダイアログ ～フィンランド発の“対話による治療”～	齋藤環(筑波大 教授) 野口裕二(東京学芸大 教授) 信田さよ子(原宿カウンセリングセンター 所長) 向谷地生良(北海道医療大 教授)	計1回

平成 27 年 10 月 17 日に筑波大学講義室において講演会を開催しました。当日は 233 名の方に来聴いただきました。26 年度では 140 名であったことを鑑みると、93 名の増加(26 年度比 166.4%)という結果になりました。本講演会の記録として青健シリーズ No.27 に取りまとめ、会員および関係先等に頒布しております。

③ クリニック絆

昨年度で 4 年目を経過したクリニック絆の総相談件数は 946 件にのぼりました。昨年度が 642 件であり、年間通じ 304 件の増加がありました(26 年度比 147.3%)。

以上、平成 27 年度事業報告をさせていただきました。引き続き、「ひきこもり等生きづらさを抱える若者への相談・居場所支援事業」、「ひきこもり等生きづらさを抱える若者に関する知識の普及啓発を目的とする事業」、「若者の自殺予防を図る無料の電話相談 クリニック絆 事業」等の事業展開を行っていきながら、社会に求められる事業運営・実施等を行ってまいります。

昨年度には創立 30 周年を迎え、今後の 40 年、50 年と運営できるよう役職員一同力を合わせて社業に注力する所存です。どうぞなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上